MITSUBISHI

特定保守製品
※法定点検が必要な製品です。

1005874HH9502

三菱バス乾燥・暖房・換気システム
換気システム連動形〈セパレートタイプ〉

バスカラッド
三菱バス乾燥・暖房・換気システム

形 名
WD-121BZMD（100Vタイプ）
WD-221BZMD（単相200V／100V併用タイプ）
据付説明書

販売事業者・据付事業者さま用

■本製品は消防法基準適合品です。
■本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
■設置を始める前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
電気工事は、販売事業者・据付事業者さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。
（お客さま自身で設置しないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています。）

本製品の設置にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。（本製品は（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

- 本製品は単体では使用できません。必ず耐湿形の中間取付形ダクトファンまたはロスナイセントラル（強弱ノッチ付／消費電力 100W 以下 / 浴室換気風量 135m³/h 以下）を接続してご使用ください。
- WD-221BZMD の場合は、電源として単相交流 200V と交流 100V が必要です。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

特定保守製品に関するお願い

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
■特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者様は点検期間に点検を行う（有償の法定点検）などの保守を行うことが求められている製品です。
■消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者様は、製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対して、所有者情報を提供する責務（消費生活用製品安全法第 32 条の８第１項）が定められています。

もくじ

特定保守製品に関するお願い……2
1.安全のために必ず守ること……3
お願い……4
2.各部のなまえと寸法（外形寸法図）…5～7
■本　体……5
■天井開口寸法……5
■コントロールスイッチ（別売）……6
■照明スイッチ……6
■付属品……6
■結線図……7
3.取付方法……7～20
1取付け前の準備……7～9
2本体の取付け……9～10
3電気工事……11～19
■結線図……11
ロスナイセントラル換気ユニット
・VL-200PZMSタイプとの連動結線図①……12
・VL-200PZMSタイプとの連動結線図②……13
・VL-100PZMSとの連動結線図①……13
・VL-100PZMSとの連動結線図②……14
・VL-10PZM3-L,R, VL-15PZM3-L,R, VL-10CZ3-L,R, VL-15CZ3-L,Rとの連動結線図……14
・VL-20PZM3-L,Rとの連動結線図……15
エアフロー環気システム
・V-180SZ4との連動結線図……15
・V-180SZ（U）4-Nとの連動結線図①……16
・V-180SZ（U）4-Nとの連動結線図②……16
中間取付形ダクトファン
・V-18ZMC4との連動結線図……17
■トイレ（外部）スイッチに適用可能な市販のスイッチ…17
■外部結線例……18
4コントロールスイッチの取付け……19～20
5衣類吊下げ用パイプの取付け……20
4.試運転……21～24
1電気工事の確認……21
2試運転前の確認……21
3電源を入れる（ブレーカーを入れる）……21
4初期設定の変更・確認……22
5運転の確認……23
6本体とトイレ（外部）スイッチの動作を確認する…23
7不具合対処……24

特定保守製品に関するお願い　つづき

据付事業者様へ

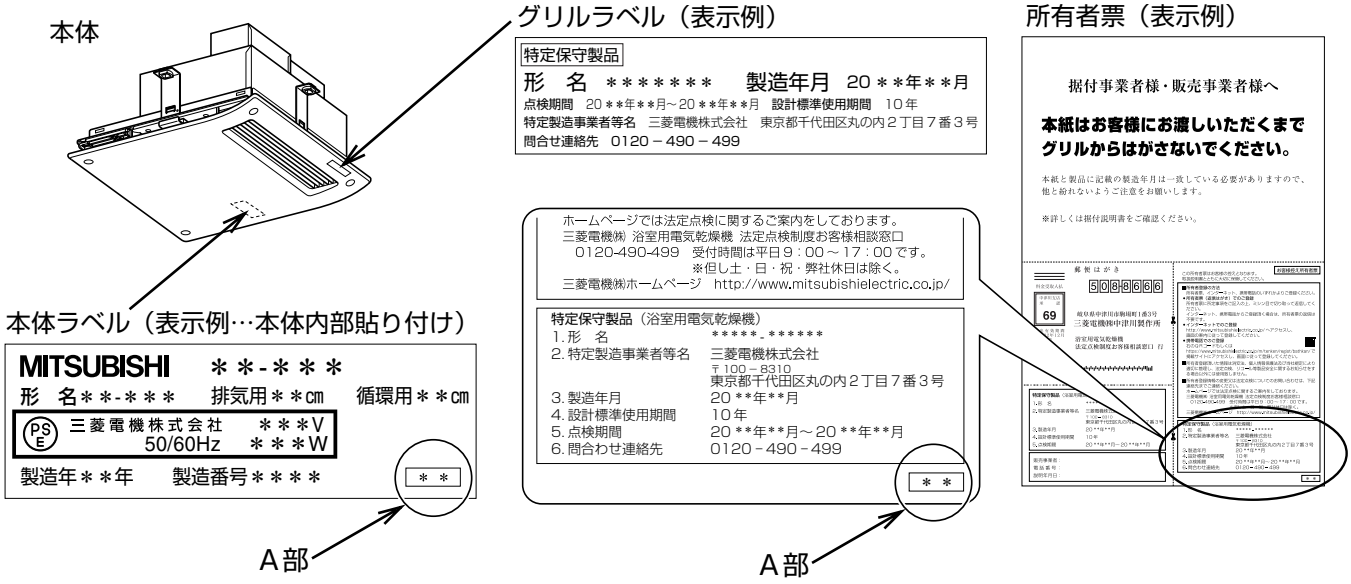
■本体とグリルと所有者票の製造年月を合わせる為下記の確認を行って設置をお願いします。

1）本体ラベル、グリルラベルと所有者票の「形名」が同じであること

2）本体ラベルと所有者票の「A部」が同じであること

3）所有者票とグリルラベルの「製造年月」が同じであること

■所有者票はグリルにテープで貼付けてあります。所有者様にお渡しいただくまでグリルからはがさないでください。



■別冊の取扱説明書は所有者様用ですので、必ず所有者様にお渡しください。

販売事業者様へ

■付属の取扱説明書と所有者票（グリルに貼り付け）は、所有者様（消費者様、賃貸業者様）に必ずお渡しください。

■グリルラベルと所有者票に記載されている「形名」「製造年月」が不一致にならないように所有者様にお渡しください。

■所有者様（消費者様、賃貸業者様）に対し所有者票に記載されている法定説明事項をご説明いただく義務（消費生活用製品安全法第 32 条の５第１項）と、所有者情報の提供にご協力いただく責務（消費生活用製品安全法第 32 条の８第３項）が定められていますので、ご協力をお願いします。

1.安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

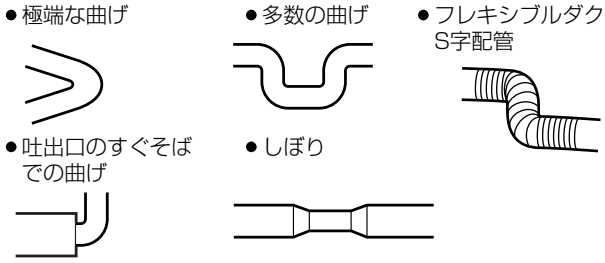
禁止	**内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因
水ぬれ禁止	**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショートや感電の原因
分解禁止	**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因
指示に従う	**本体はネジを使って確実に固定する** 落下によりけがの原因
	WD-121BZMD は、交流 100V を使用する 交流 100V 以外を使用すると火災や感電の原因 **WD-221BZMD は、単相交流 200V および交流 100V を使用する** 上記以外を使用すると火災や感電の原因
	金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける **〔電気設備の技術基準　解釈　第 167 条 3 項〕** 接続されていると漏電した場合火災の原因
アース確認	**アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける** 故障や漏電のときに感電の原因

⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**浴室内にコントロールスイッチを設けない** 故障の原因 **直接炎のあたるおそれのある場所には取付けない** 火災の原因
指示に従う	**本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける** 落下によりけがの原因
	電源電線の接続は確実に行う 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因
	電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因
	部品の取付けは確実に行う 落下により、けがの原因
	取付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因
	取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因
	トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

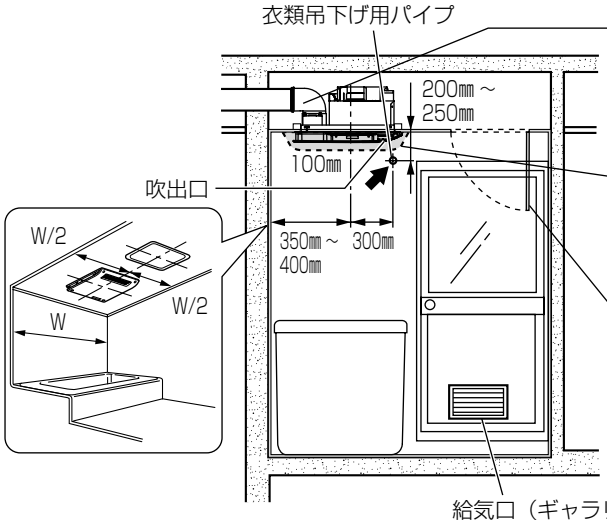
お願い

- **つねに高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。**
  高温では、サーモが働きヒーターが通電しません。
- **温泉の浴室やプール等で使用しないでください。**
  故障の原因となります。
- **スチームサウナ付の浴室では使用しないでください。**
  故障の原因となります。
- **本体を断熱材等で覆わないでください。**
- **浴室内にはコントロールスイッチを取付けないでください。**
- **この製品は浴室の天井取付け専用です。標準適応サイズはWD-121BZMDが1坪タイプ、WD-221BZMDが1.5坪タイプの浴室です。ユニットバス以外は浴室温度が十分上昇しないことがあります。**
  浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、その他断熱が悪い場合、暖房・乾燥効果は減少します。
- **傾斜した天井には取付けないでください。**
  製品故障やモータ寿命が短くなる原因となります。
- **排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1／100以上の傾斜をつけてください。**
- **排気ダクトの先端には、雨水や鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐためのフード（システム部材）などを取付けてください。**
- **本製品で住宅の全般換気を行う場合は居室の扉に通気措置（アンダーカットなど）が必要となります。**
- **有機溶剤やスプレーを使う場所には取付けないでください。**
  故障の原因となります。
- **次のようなダクト工事はしないでください。**
  風量低下や異常音発生の原因になります



製品の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。
地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。

- **本製品は特定保守製品であり後日点検が必要になります。点検を実施できるように設置時には下記点にご注意いただき設置ねがいます。**
  - 点検口を製品の近くに設けてください。
  - 電源配線やその他の配線（コントロールスイッチ等）の接合部分が壁の中にあったり、後日点検できない場所に配置されないようにしてください。
  - 製品の設置場所は遮蔽物等により点検口から製品が見えない、あるいは製品を点検修理できない場所には設置しないようにしてください。
  - 製品の取付部には接着剤や両面テープ等、製品の取り外しが困難になるようなものは使用しないでください。



排気ダクト
- 不燃材料以外のダクトでの施工が可能です。

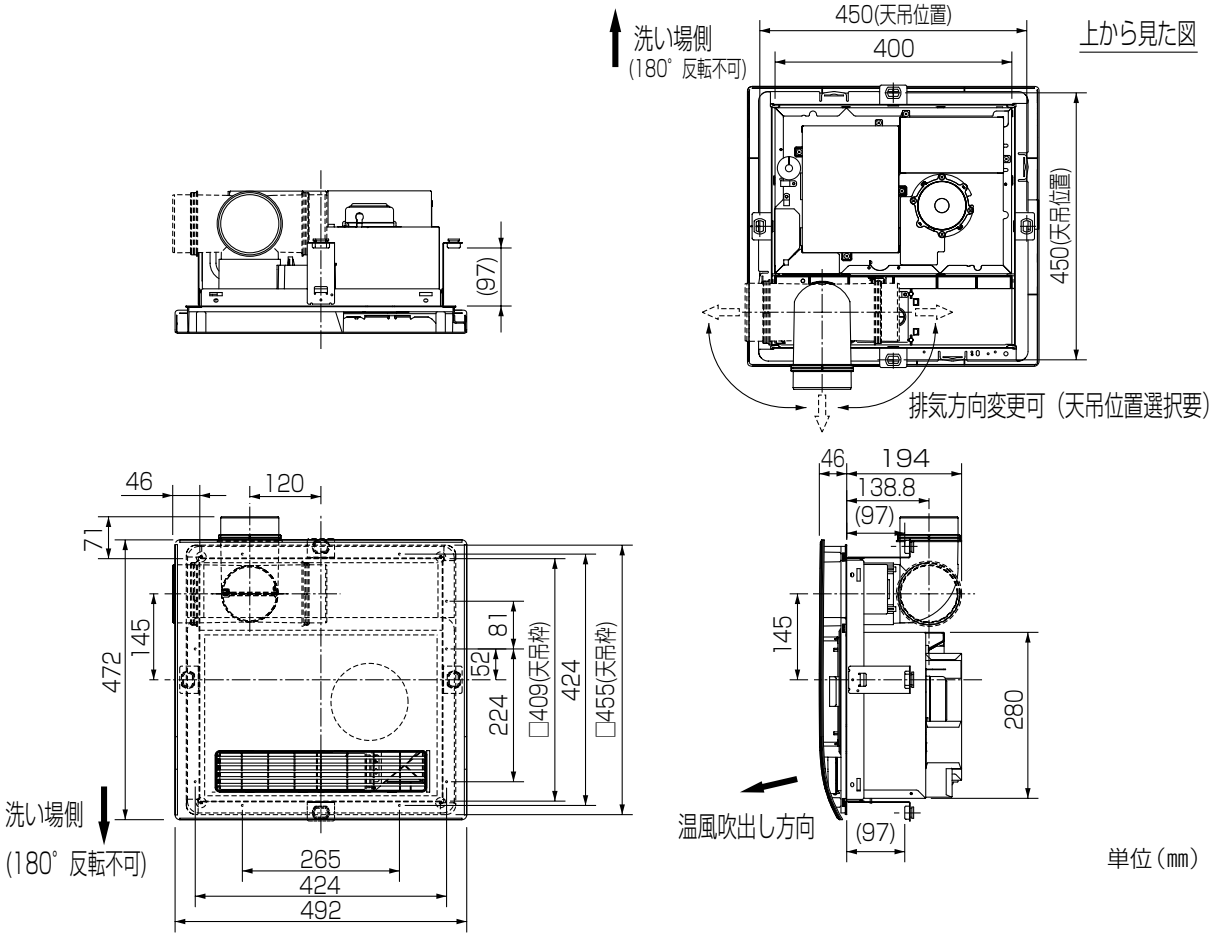
グリルの周囲
- グリル下方100㎜未満の範囲には造営材等（乾燥させる洗濯物および吊下げ用パイプを含む）を設けないでください。

点検口
- 本体の近くに本体の点検ができる点検口を設けてください。

- 本体および衣類吊下げ用パイプ（市販品）の設置は上図の寸法の位置に取付ける。
- 本体は必ず天井板に浴室内から取付けてください。（本体をおろしてメンテナンスできなくなります）
- 電源ケーブル、コントロールスイッチ接続コード、トイレ（外部）スイッチ接続用電源ケーブル、連動換気扇接続ケーブルは、本体がおろせるように約2mの余裕をもたせる。（短いとメンテナンスができなくなります）
- 吹出口が洗い場側に向くように設置する。（乾燥・暖房の効果を上げます）
- 給気口（ギャラリ）を設ける。
- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードや本製品の電源ケーブルと別配線し、10㎜以上離して配線してください。（誤動作の原因になります）

2.各部のなまえと寸法（外形寸法図）

■本　体　WD-121BZMD、WD-221BZMD



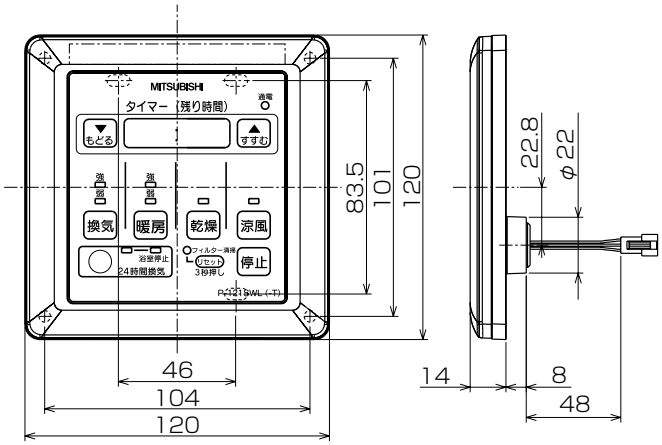
単位（㎜）

■天井開口寸法

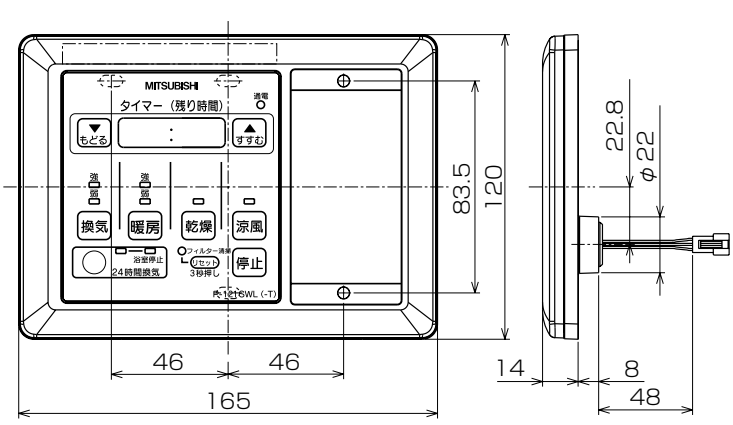
- 本体取付け……□420㎜（野縁取付けの場合は□415㎜）
- 点検口……□450㎜

■コントロールスイッチ（別売）

P-121SWM　　単位（㎜）



P-121SWM-T　　単位（㎜）



■照明スイッチ（P-121SWM-T との組合せの場合）

照明スイッチは下記のスイッチをご使用ください。

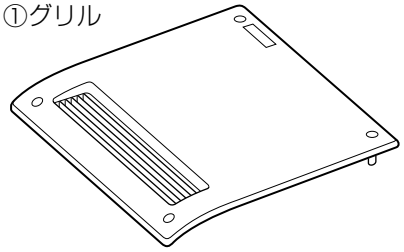
パナソニック電工製コスモシリーズワイド

仕様	ハンドル形名	スイッチ形名	取付枠
1 個用スイッチ　ほたる付（AC15A 100V）	WT3031W	WT5051（片切） WT5052（3 路）	WT3700020
2 個用スイッチ　ほたる付（AC15A 100V）	WT3032W		
3 個用スイッチ　ほたる付（AC15A 100V）	WT3033W		

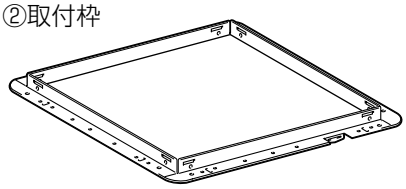
●照明スイッチをご使用にならない場合はブランクチップ（WT-6191W パナソニック電工製）をご使用ください。
※形名は 2009 年 1 月現在のものです。メーカーによって形名を変更する場合がございます。
　また、使用の可否は弊社確認によるものです。

■付属品

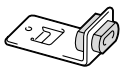
①グリル



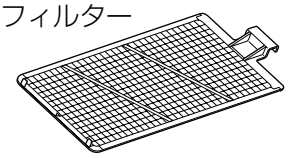
②取付枠



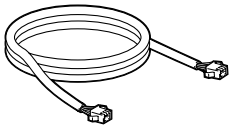
③天吊金具



④フィルター

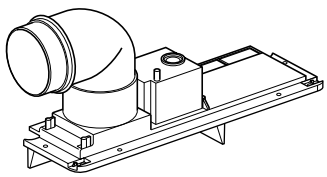


⑧コントロールスイッチ
接続コード（5m）

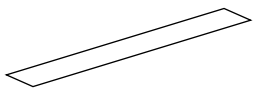


No	名称	WD-121BZMD,WD-221BZMD
①	グリル	1個
②	取付枠	1個
③	天吊金具	4個
④	フィルター（本体に搭載）	1個
⑤	換気口ユニット	1個
⑥	アルミテープ（幅25㎜）	1枚
⑦	ネジカバー	4個
⑧	コントロールスイッチ接続コード（5m）	1本
⑨	4-25ドリルネジ（本体取付用）	14本
⑩	4-25トラスタッピンネジ（本体取付用）	1本
⑪	4-20トラスネジ（換気口ユニットと本体の接続用）	1本
⑫	4-6トラスタッピンネジ（天吊金具固定用）	4本
⑬	取扱説明書	1冊
⑭	据付説明書	1冊

⑤換気口ユニット



⑥アルミテープ



⑦ネジカバー

⑨ドリルネジ

⑩トラスタッピンネジ

⑪トラスネジ

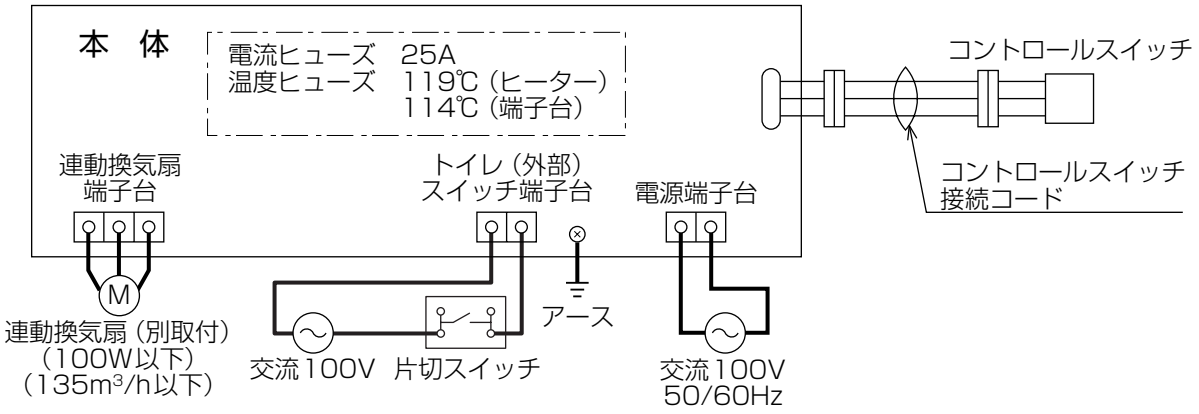
⑫トラスタッピンネジ

お願い　●この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

■結線図

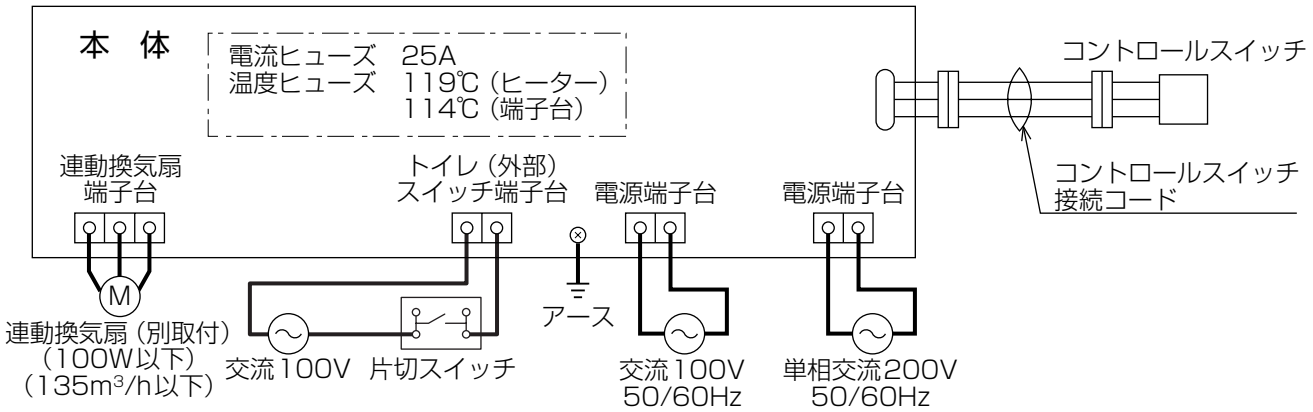
■WD-121BZMD

※破線部分の結線は
お客様にて施工してください。



■WD-221BZMD

※破線部分の結線は
お客様にて施工してください。
※電源として単相交流200Vと
交流100Vが必要です。



3. 取付方法

設置手順

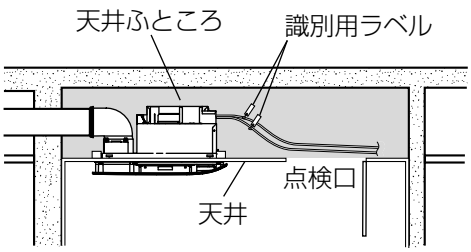
1 取付け前の準備 → 2 本体の取付け → 3 電気工事 → 4 コントロールスイッチの取付け → 5 衣装吊下げ用パイプの取付け ……**試運転**（風量設定等）

- 本体の取付けは必ず天井板に浴室内から固定し、配線は約2m余裕をもって行ってください。本体のメンテナンスができなくなります。
- 排気方向を180°の範囲より選択できます。
- 排気方向の選択によって取付枠に取付ける天吊金具の位置が変わります。
- 浴室側と本体の向きを確かめ、正しく安全に取付けてください。
- 電気工事は天井ふところが狭くなると、本体取付後に配線が難しい場合があります。その場合はあらかじめ点検口付近まで配線しておくことをおすすめします。

1 取付け前の準備

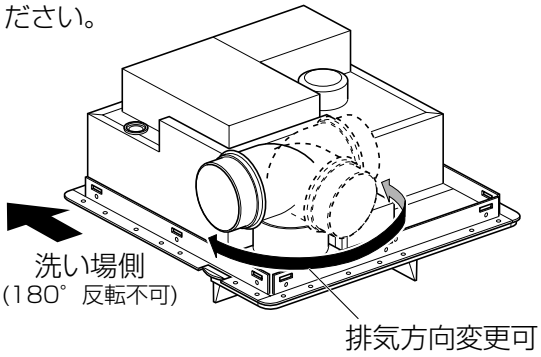
お願い

- 端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別のための目印（識別用ラベルなど）を付けてください。



1　配線をする。

- ２芯の電源ケーブル（VVF ケーブルφ２㎜）、３芯の連動換気扇接続ケーブル（VVF ケーブルφ２㎜またはφ 1.6 ㎜）、アース線および付属のコントロールスイッチ接続コード（有効長約 5m）を配線してください。
  ※ WD-221BZMD の場合は、電源ケーブルが２本必要です。（交流 100V 及び単相交流 200V 用）
  ※各ケーブルの長さは 30m 以下にしてください。30m を超えますと、誤動作の原因になります。
- コントロールスイッチ接続コードの長さがたりない場合には「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。
  ※コントロールスイッチ接続コードは 15m 以上に延長しないでください。誤動作の原因になります。
- 本体取付位置より約 2m の余裕をもって配線してください。
- 電源ケーブルは専用の分岐ブレーカー（20A）より配線してください。
- 漏電しゃ断器を取付けてください。



2　取付位置・排気方向を決める。

排気方向を選択する

ダクト接続口の向きは、排気方向に合わせて180°の範囲から選択できます。

※天吊金具とダクト接続口が干渉しないように天吊金具の位置を選択してください。

お願い

- あらかじめ洗い場側、配管位置、排気方向を確認してください。

3　取付枠を取付ける。

天吊取付けの場合

■ダクト接続方向の確認

接続するダクトの配管方向は、180°の範囲から選択できます。配管の位置を確認して、天吊金具は排気ダクトを避けて取付枠に取付けます。

（1）右図を参照し、取付穴位置にあらかじめ市販のアンカーボルト（M8またはM10）を埋め込む。

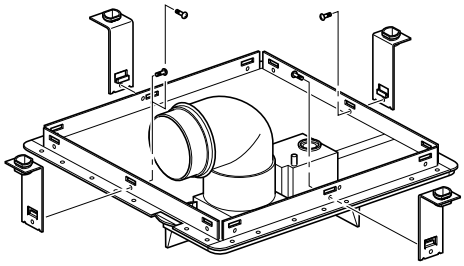
（2）浴室の天井板に□420㎜の開口部を設ける。

（3）天吊金具を右図に従い取付枠に付属の取付ネジ（4-6 トラスタッピンネジ）で固定する。

（4）取付枠を内側から差し込み、アンカーボルトに市販のワッシャー・ナットを使用して吊す。

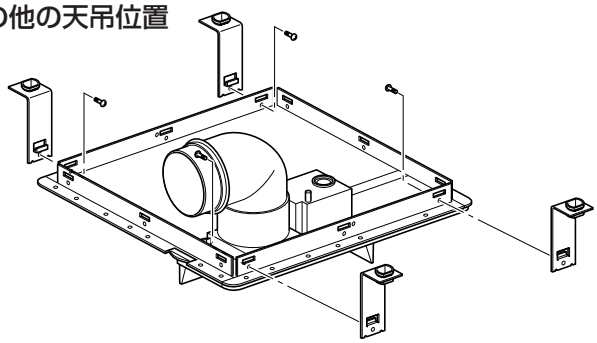
（5）取付枠と天井板が水平となるようにアンカーボルトに固定する。

標準天吊位置

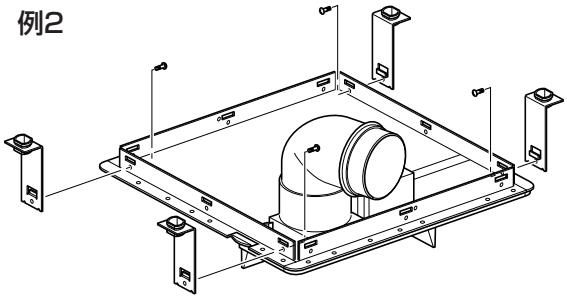


その他の天吊位置

例1

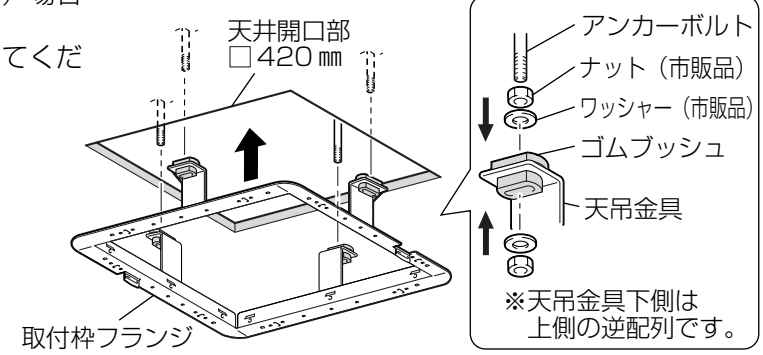


例2



お願い

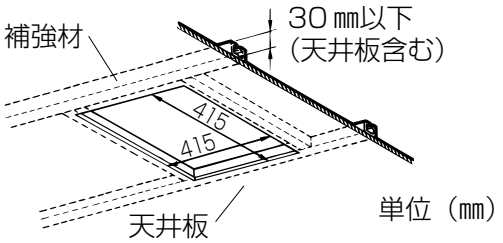
- 天吊金具を固定するナットをしっかりとしめ、取付枠のフランジがしっかりと天井面に密着していることを確認してください。密着していない（ガタつく）場合は本体と天井面のすき間の原因となります。
- ナットがゆるまないように確実な処置で固定してください。



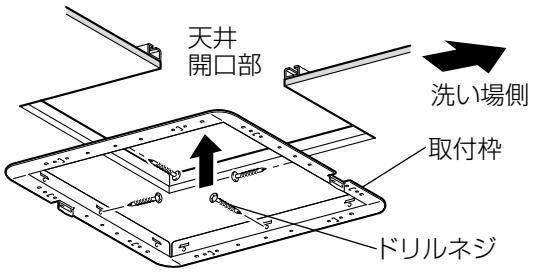
野縁取付けの場合

（1）浴室の天井板に□415㎜の開口部を設ける。

- 内寸が右図の寸法となるように天井に補強材を設ける。
- 補強材は天井板を含めて **30㎜以下** としてください。（ダクト接続作業が困難になります）
- 補強材は天井にしっかりと固定してください。



（2）開口部と補強材に取付枠を、側面中央の丸穴4ヶ所を使って付属のネジ（4-25 ドリルネジ4本）で固定する。



お願い

- 野縁取付けの場合も製品を正しく固定するために取付枠をご使用ください。
- すべてのドリルネジが野縁に締め込まれていることを確認してください。

2 本体の取付け

⚠警告

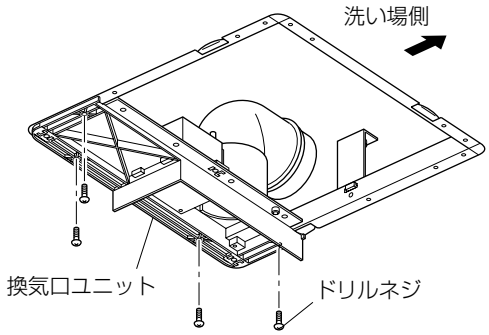
- **本体はネジを使って確実に固定する**
  落下によりけがの原因

1　換気口ユニットを取付け、ダクト工事を行う。

（1）換気口ユニットを洗い場側と反対側の縁に付属のネジ（4-25 ドリルネジ4本）で固定する。

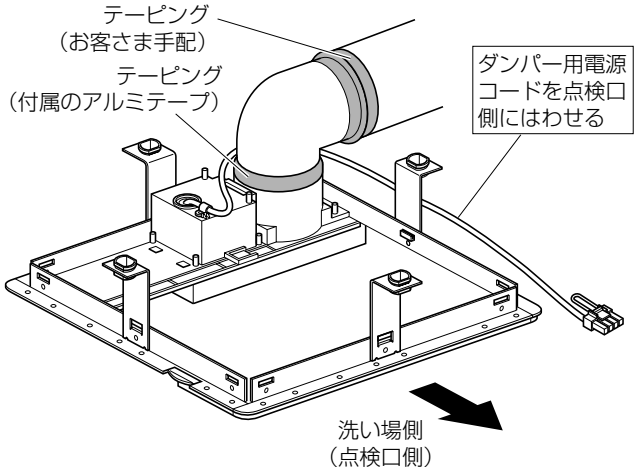
（2）ダクト接続口を排気方向に向け、風漏れのないように付属のアルミテープ（幅25㎜）で根元を固定する。

（3）ダクトをダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようにテーピングする。



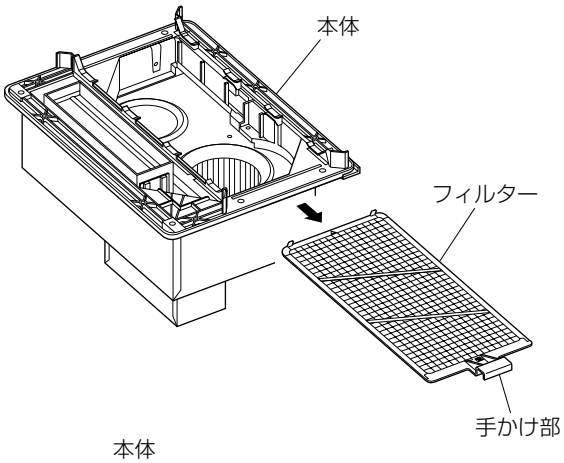
お願い

- 換気口ユニットを取付けの際、ダンパー用電源コードをかみこまないようにしてください。
- ダンパー用電源コードは点検口より本体との接続が必要ですので、天井開口に沿って点検口側へはわせておいてください。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。取付部が破損するおそれがあります。



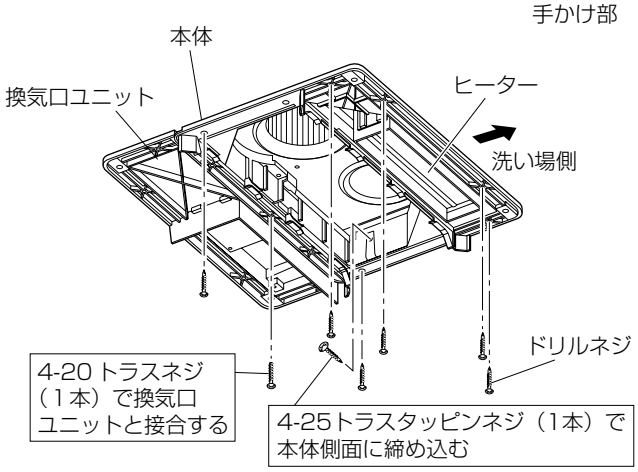
2　本体を取付ける。

本体に付いているフィルターをはずしてから、本体を換気口ユニット横の開口部にヒーターを洗い場側に向けて挿入し、付属の取付ネジ（4-25 ドリルネジ6本、4-25 トラスタッピンネジ1本および4-20 トラスネジ1本）で確実に固定する。



お願い

- 本体取付けの際はフィルターを必ずはずしてください。（フィルターの手かけ部に無理に力を加えますと、フィルターが破損するおそれがあります）
- 取付枠に本体を挿入する際は、本体をなるべく水平にして行ってください。
- 4-25 トラスタッピンネジ（1 本）の締め付けは手締めで行ってください。
  本体が変形しない程度の締め付けとしてください。
- インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。取付部が破損するおそれがあります。



3　本体にグリルを取付ける。

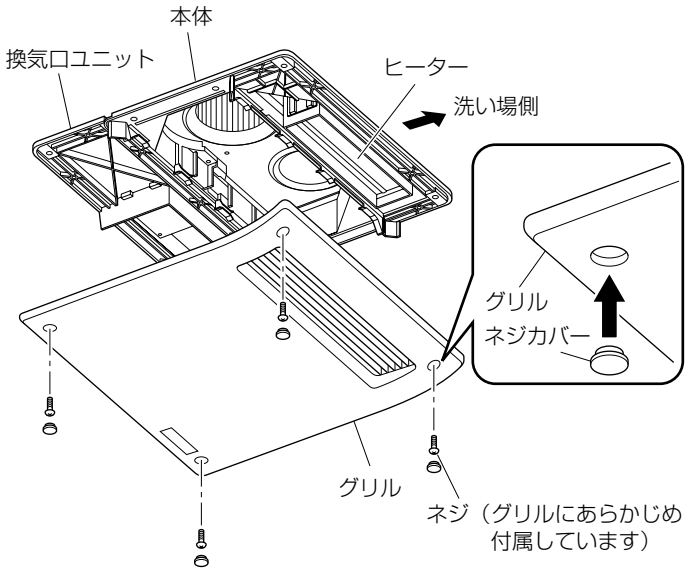
（1）本体取付ネジ穴にグリルのネジ部を合わせ、4ヶ所をネジで固定する。
（ネジはあらかじめグリルに付属しています）

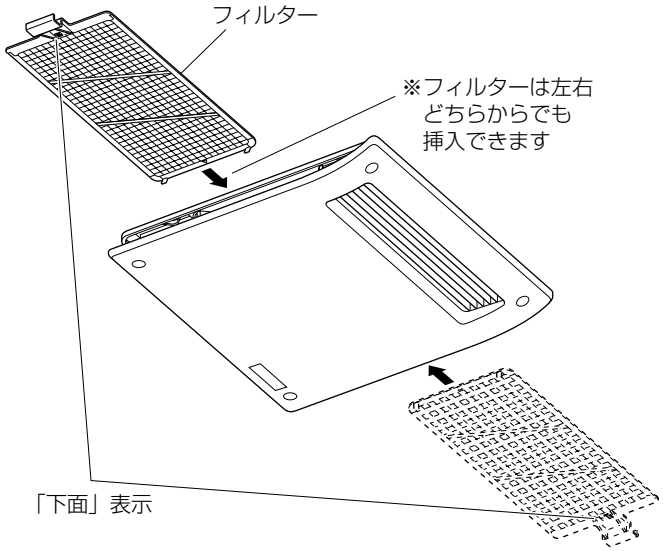
（2）ネジ固定後、付属のネジカバーをネジ部分にはめる。

（3）フィルターを元通り取付ける。

お願い

- 工具の先端でグリル表面を傷つけないようにしてください。
- 本体取付けの際にはずしたフィルターは、必ず元通りに取付けてください。
- インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。取付部が破損するおそれがあります。





❸ 電気工事

⚠警告

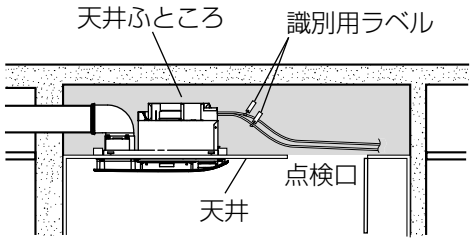
- **WD-121BZMDは、交流100Vを使用する**
  交流100V以外を使用すると火災や感電の原因
- **WD-221BZMDは、単相交流200Vおよび交流100Vを使用する**
  上記以外を使用すると火災や感電の原因

⚠注意

- **コントロールスイッチを浴室内に設けない**
  故障の原因
- **電源電線の接続は確実に行う**
  接続部が過熱して発火する原因
- **電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う**
  接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因

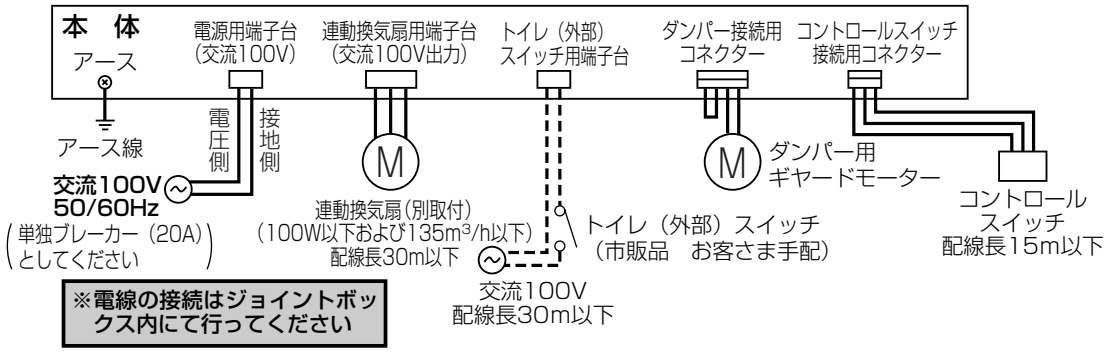
お願い

- 端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別のための目印（識別用ラベルなど）を付けてください。
- 各ケーブルを引き回す際、周囲に発泡スチロール（断熱材等）がある場合にはケーブルを接触させないようにしてください。可塑剤の移行によりケーブルの被覆および断熱材が破損します。
- 各ケーブルの長さは30m以下にしてください。30mを超えますと、誤動作の原因になります。

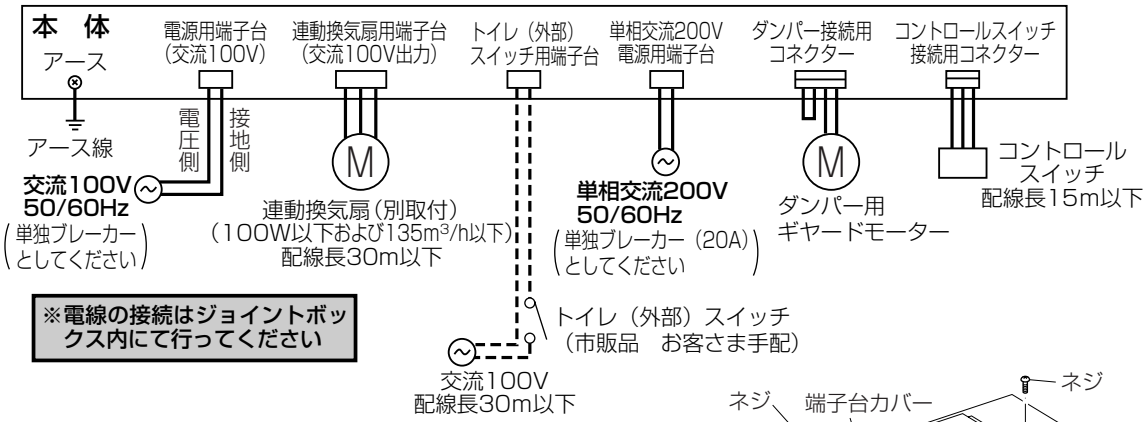


■結線図……太線部分を結線してください。各ケーブルは約2mの余裕をもって配線してください。
（破線部分は必要に応じ、結線してください）

■WD-121BZMD



■WD-221BZMD



1　端子台カバーを取りはずす。

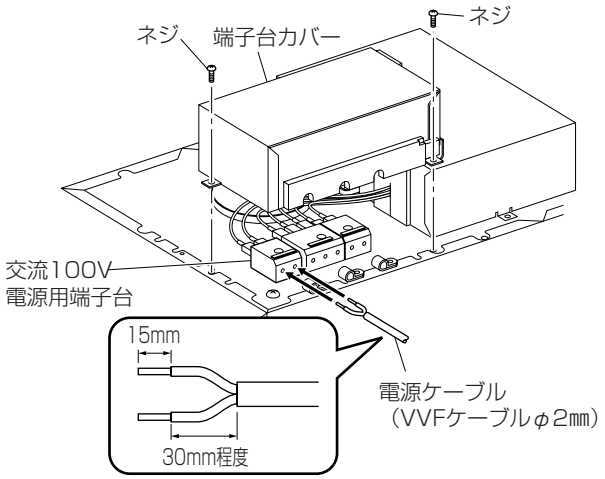
ネジ2本をはずし、端子台カバーをはずす。

2　「電源用端子台」へ接続する。

WD-121BZMDの場合

本体の「電源用端子台」に交流100Vの電源ケーブル（VVFケーブルφ2㎜）を芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込む。

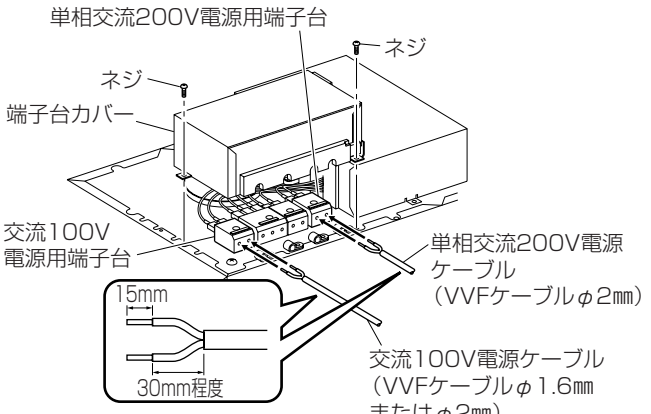
- ケーブル先端の皮むき寸法は 15㎜ です。
- ケーブル外皮は 30㎜程度 むいておいてください。



WD-221BZMDの場合

本体の「電源用端子台（交流100V、単相交流200V）」にそれぞれAC100Vの電源ケーブル（VVFケーブルφ1.6㎜またはφ2㎜）、単相交流200Vの電源ケーブル（VVFケーブルφ2㎜）を芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込む。

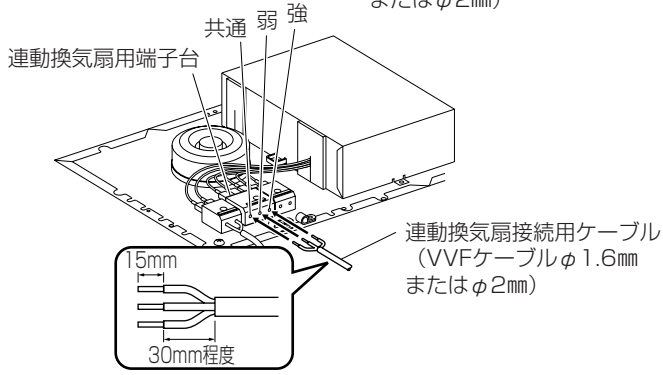
- ケーブル先端の皮むき寸法は **15㎜** です。
- ケーブル外皮は **30㎜程度** むいておいてください。



3　連動換気扇出力の接続を行う。

本体の「連動換気扇端子台」に連動換気扇との接続用ケーブル（VVFφ1.6㎜またはφ2㎜）を芯線が見えなくなるまで差し込む。

- ケーブル先端の皮むき寸法は **15㎜** です。
- ケーブル外皮は **30㎜程度** むいておいてください。
- 負荷の最大容量は100Wまでです。



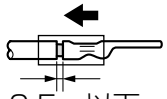
お願い

- 結線を間違えないでください。（連動換気扇が故障するおそれがあります）
- 連動換気扇との接続用ケーブルがより線の場合、「圧着端子使用方法」を参照し、棒形圧着端子（お客さま手配）を専用工具でかしめてご使用ください。

■圧着端子使用方法

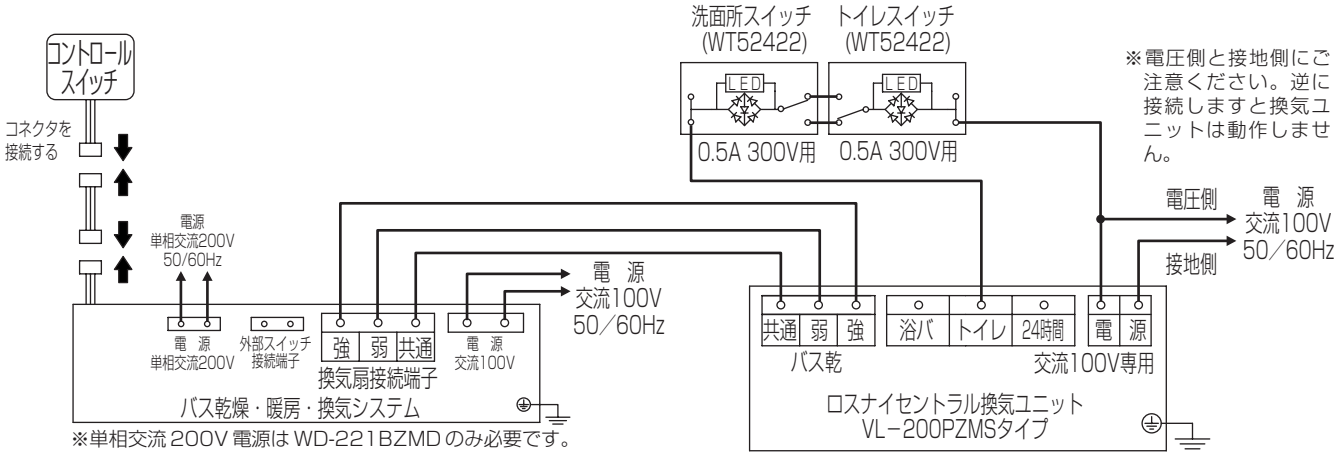
棒型圧着端子 形名：ニチフ製 TMEN TC-1.25-16（または同等品）

先端を約6㎜皮むきした電線に、
棒型圧着端子を差し込みかしめる。



適用圧着工具：
ニチフ製　NH-11またはNH-32と同等品

■（ロスナイセントラル換気ユニット）VL-200PZMSタイプとの連動結線図①
（VL-200PZMSタイプ側に外部スイッチを接続する場合）



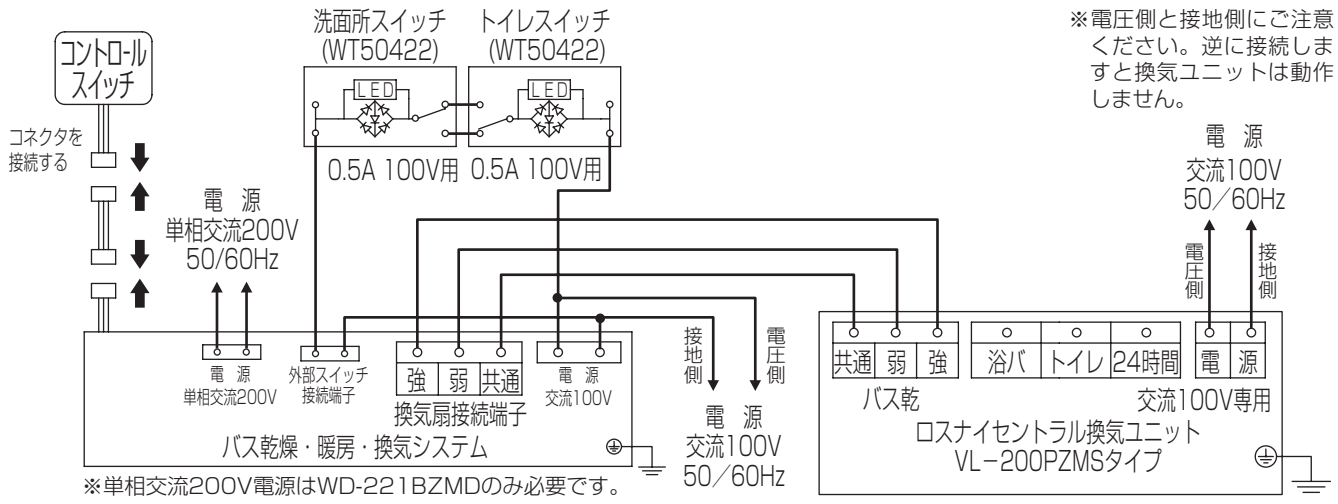
※単相交流 200V 電源は WD-221BZMD のみ必要です。

●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
ロスナイセントラル換気ユニット 運転モード	浴室急速		24hr換気 ※3	24hr換気	24hr換気 ※3	24hr換気 ※2	浴室急速		24hr換気 ※3	24hr換気 ※2	24hr換気 ※3	停止
浴室換気	バイパス		熱交換		熱交換		バイパス		熱交換		浴室停止	−
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		開		開	

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※2：バス乾燥・暖房・換気システムの設定により“停止”への切換えが可能です。（コントロールスイッチにて設定できます）P22
“強”には設定しないでください。“強”に設定すると、常時浴室急速換気モードになります。
※3：トイレスイッチを入れることで風量が1.5倍になります。ただし、最大150m³／hです。

■ ロスナイセントラル換気ユニット VL-200PZMSタイプとの連動結線図②
（バス乾燥・暖房・換気システム側に外部スイッチを接続する場合）

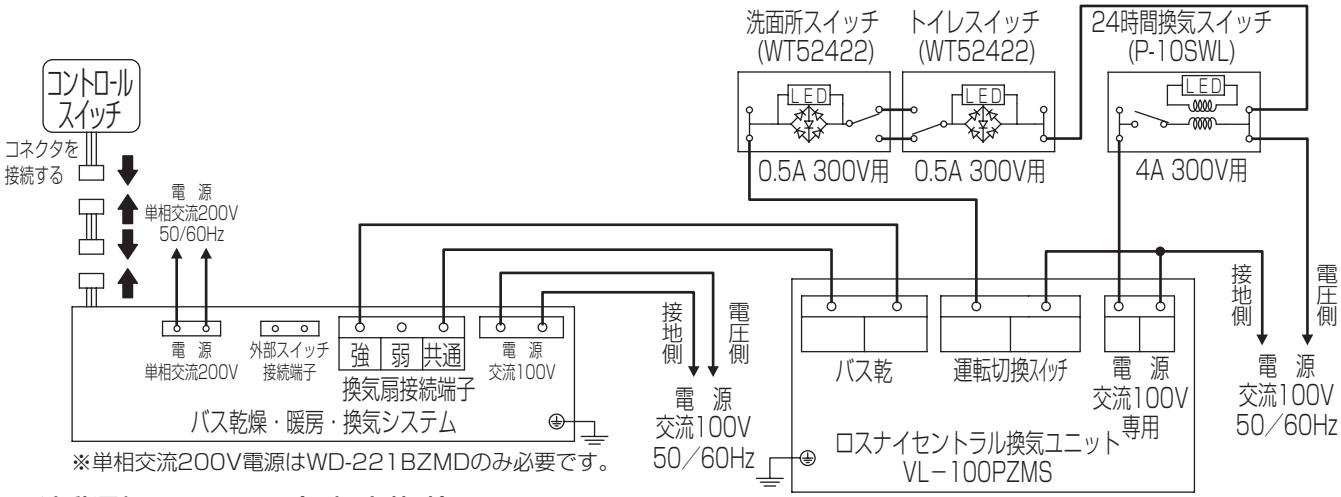


●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
ロスナイセントラル換気ユニット 運転モード	浴室急速		浴室急速	24hr換気	浴室急速	24hr換気 ※2	浴室急速		浴室急速	24hr換気 ※2	24hr換気	停止
浴室換気	バイパス		バイパス	熱交換	バイパス	熱交換	バイパス		バイパス	熱交換	熱交換	−
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		閉※1	開	閉※1	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※2：バス乾燥・暖房・換気システムの設定により“停止”への切換えが可能です。（コントロールスイッチにて設定できます） P22
“強”には設定しないでください。“強”に設定すると、常時浴室急速換気モードになります。

■ ロスナイセントラル換気ユニット VL-100PZMSとの連動結線図①
（VL-100PZMS側に外部スイッチを接続する場合）

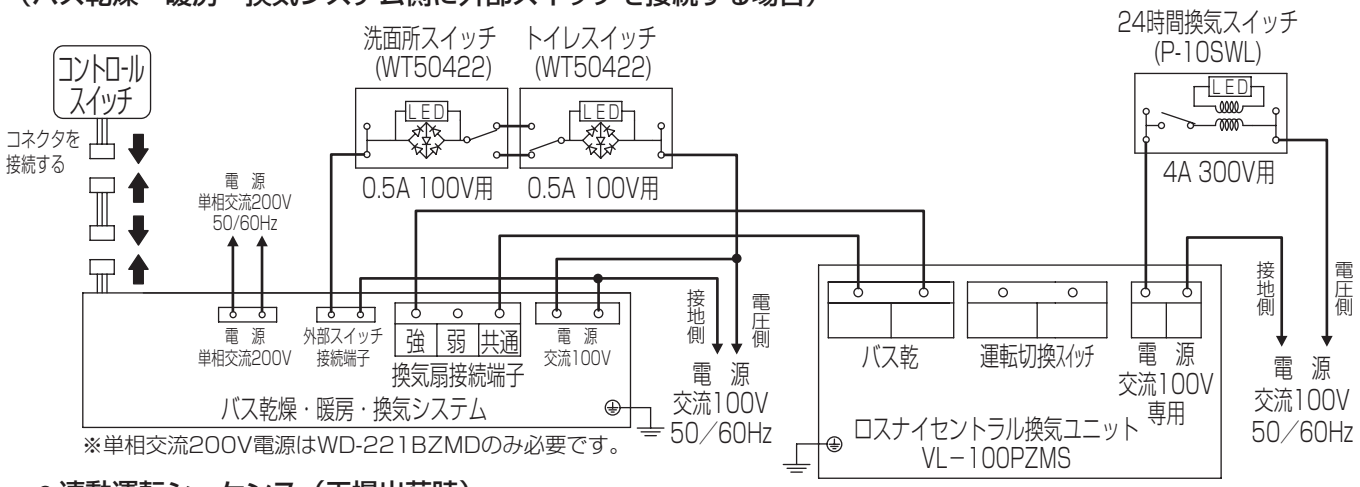


●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
ロスナイセントラル換気ユニット 運転モード	強		強	24hr換気	強	24hr換気	強		強	24hr換気	強	24hr換気
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		開		開	

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※24時間換気スイッチを“切”にしますとバス乾燥・暖房・換気システムの全モードにおいてロスナイセントラル換気ユニットが停止状態となりますのでご注意ください。（バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチでは24時間換気を停止できません）
※VL-100PZMSは、必ず「浴室バイパスモード」で使用してください。
※バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチではロスナイセントラル換気ユニットを停止できません。

■ ロスナイセントラル換気ユニット VL-100PZMSとの連動結線図②
（バス乾燥・暖房・換気システム側に外部スイッチを接続する場合）



※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

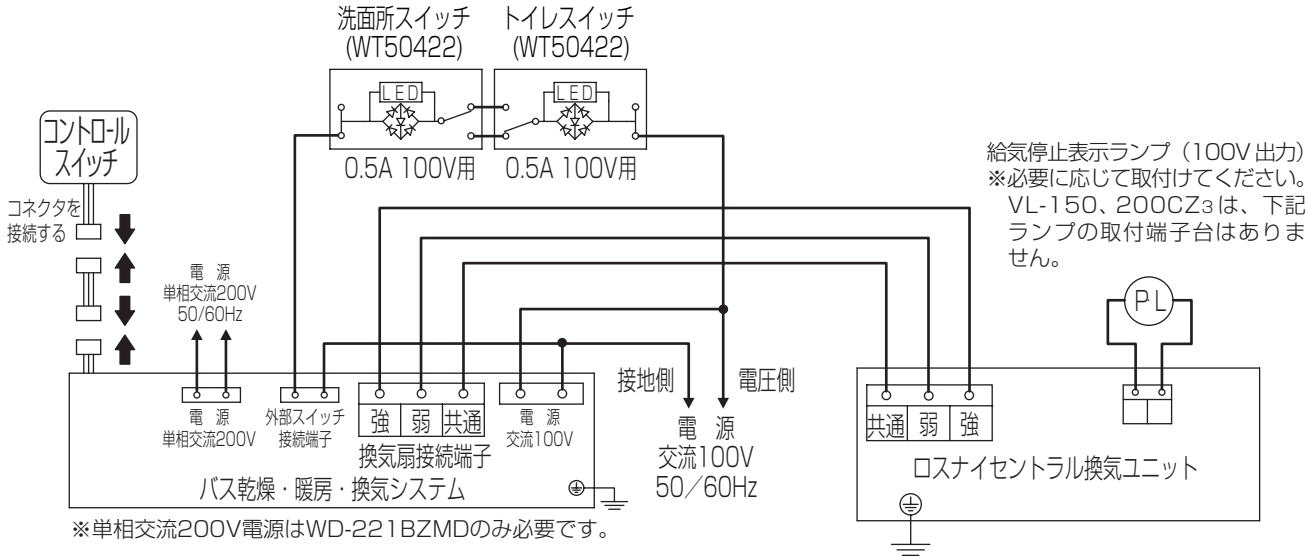
●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
ロスナイセントラル換気ユニット 運転モード	強		強	24hr換気	強	24hr換気	強		強	24hr換気	24hr換気	24hr換気
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		閉※1	開	閉※1	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※24時間換気スイッチを“切”にしますとバス乾燥・暖房・換気システムの全モードにおいてロスナイセントラル換気ユニットが停止状態となりますのでご注意ください。（バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチでは24時間換気を停止できません）
※VL-100PZMSは、必ず「浴室バイパスモード」で使用してください。
※バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチではロスナイセントラル換気ユニットを停止できません。

ロスナイセントラル換気ユニット（VL-10PZM3-L,R, VL-15PZM3-L,R / VL-10CZ3-L,R, VL-15CZ3-L,R）との連動結線図

※コントロールスイッチで連動出力（AC100V）方式の設定変更が必要です P22
※24時間の換気設計（0.5/h）は弱風量で行ってください。



※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

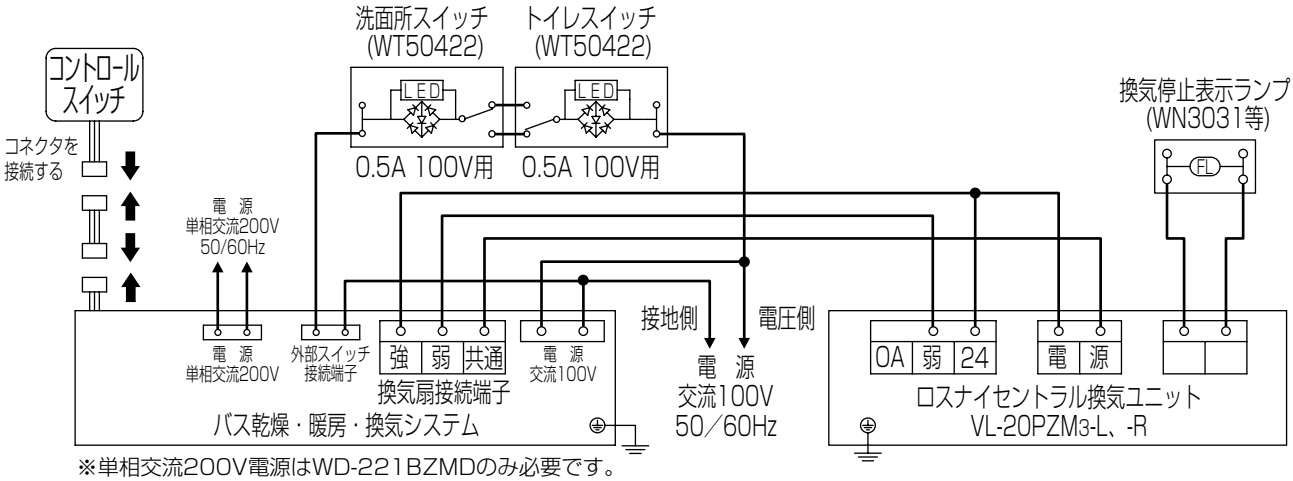
●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
ロスナイセントラル換気ユニット 運転モード	強		強	24hr換気	強	24hr換気 ※2	強		強	24hr換気 ※2	24hr換気	停止
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		閉※1	開	閉※1	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※2：バス乾燥・暖房・換気システムの設定により “停止”への切換えが可能です。(コントロールスイッチにて設定できます) P22
※バス乾燥・暖房・換気システムからの連動出力(AC100V)方式の設定変更が必要です。(コントロールスイッチにて設定できます) P22
設定を間違えますと正常に動作しません。また、ロスナイセントラル換気ユニットの故障の原因となります。

■ ロスナイセントラル換気ユニット VL-20PZM3-L,Rとの連動結線図

※コントロールスイッチで連動出力（AV100V）方式の設定変更が必要です。P22
※浴室排気はバイパス換気（RA3）に接続してご使用ください。
※24時間の換気設計（0.5回/h）は弱風量で行ってください。



※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

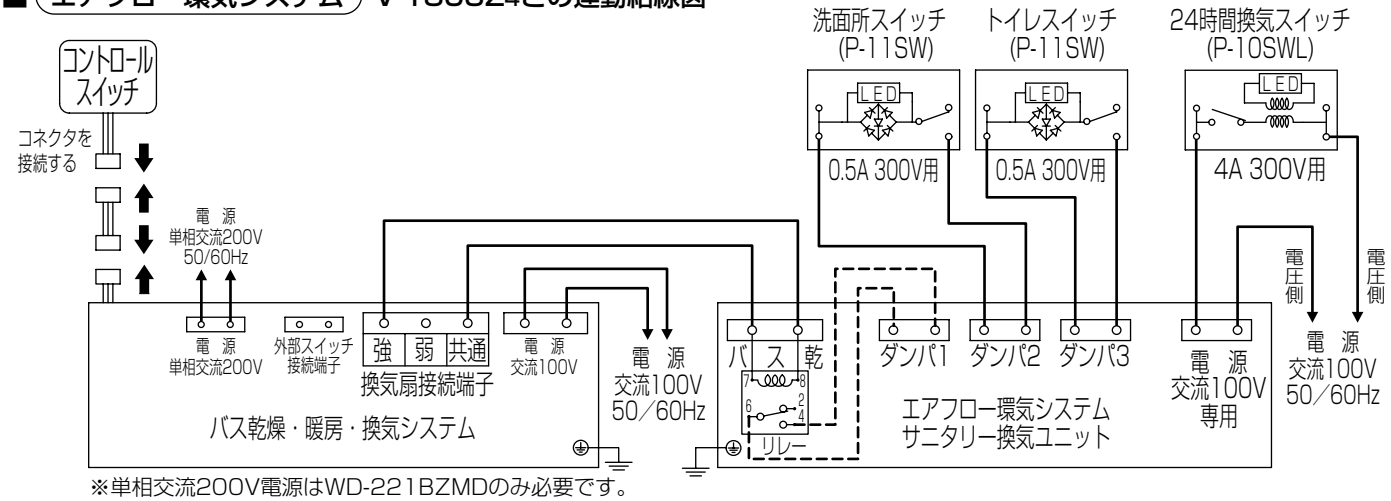
●連動運転シーケンス（工場出荷時）

※運転モード（24時間運転）の風量がバス乾燥・暖房・換気システムの「強」の風量に相当します。

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
ロスナイセントラル換気ユニット 運転モード	24hr 換気		24hr 換気	弱	24hr 換気	弱※2	24hr 換気		24hr 換気	弱※2	弱	停止
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		閉※1	開	閉※1	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※2：バス乾燥・暖房・換気システムの設定により“停止”への切換えが可能です。（コントロールスイッチにて設定できます）P22
※バス乾燥・暖房・換気システムからの電動出力（AC100V）方式の設定が必要です。（コントロールスイッチにて設定できます）P22
設定を間違えますと正常に動作しません。またロスナイセントラル換気ユニットの故障の原因となります。

■ エアフロー環気システム V-180SZ4との連動結線図



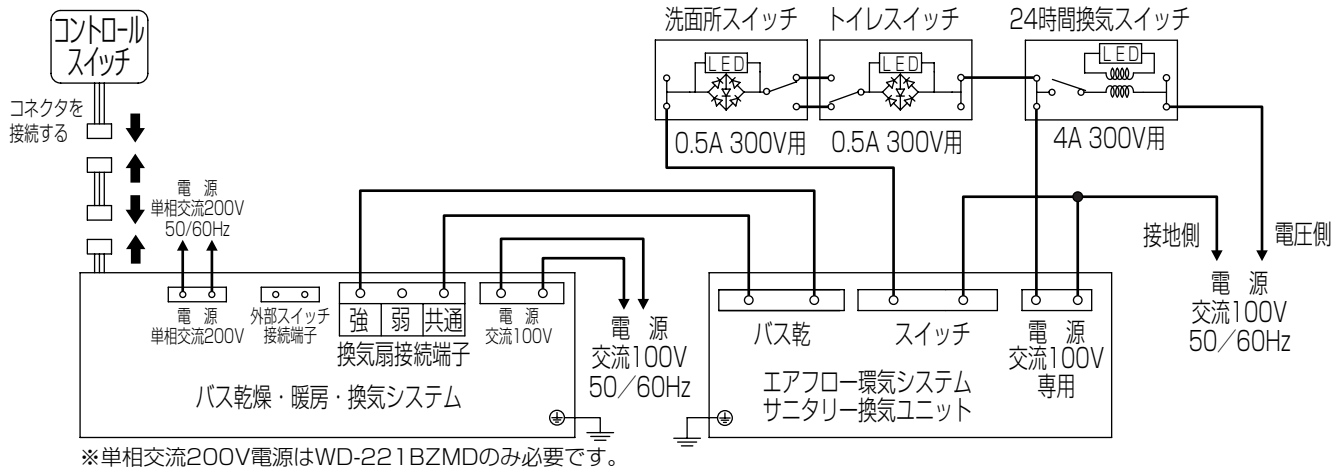
※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強	換気弱	暖房	乾燥・涼風	24時間換気	全停止
エアフロー環気システム 運転モード	24hr換気 風量アップ	24hr換気	24hr換気	24hr換気 風量アップ	24hr換気	24hr換気
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開	開	閉※1	開	開	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※破線部分（バス乾連動）の結線はダンパ1またはダンパ3に接続してください。ダンパ2に接続すると正常に動作しません。
※24時間換気スイッチを“切”にしますとバス乾燥・暖房・換気システムの全モードにおいてエアフロー環気システムが停止状態となりますのでご注意ください。（バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチでは24時間換気を停止できません）
※バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチではエアフロー環気システムを停止できません。

■ エアフロー環気システム V-180SZ(U)4-Nとの連動結線図①
（V-180SZ(U)4-N側に外部スイッチを接続する場合）



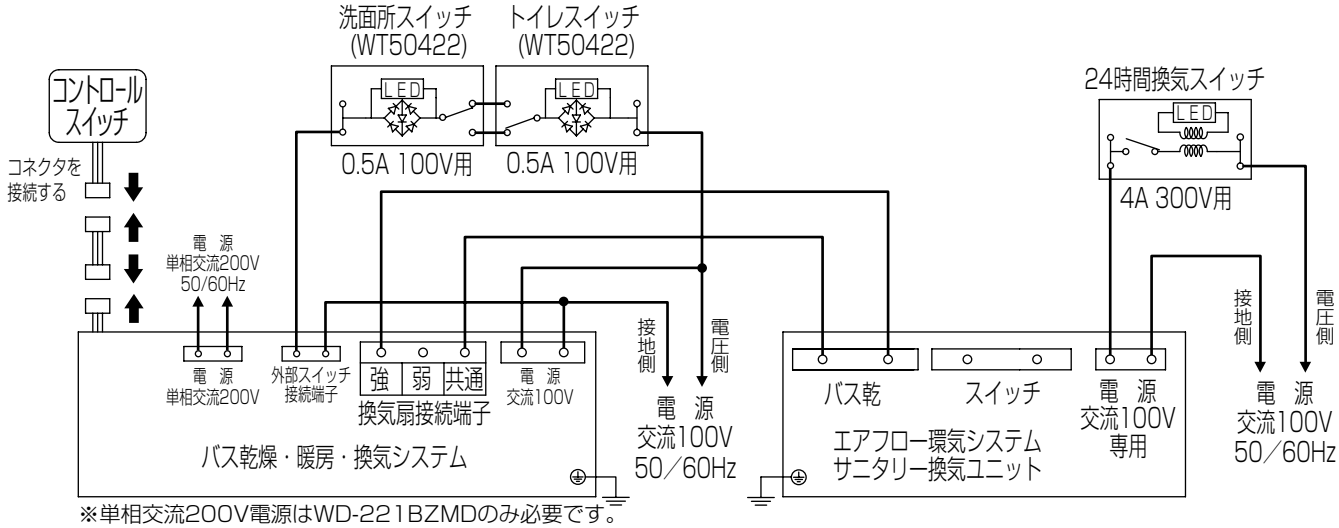
※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
エアフロー環気システム 運転モード	強		強	24hr換気	強	24hr換気	強		強	24hr換気	強	24hr換気
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		開		開	

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※24時間換気スイッチを“切”にしますとバス乾燥・暖房・換気システムの全モードにおいてエアフロー環気システムが停止状態となりますのでご注意ください。（バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチでは24時間換気を停止できません）
※バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチではエアフロー環気システムを停止できません。

■ エアフロー環気システム V-180SZ(U)4-Nとの連動結線図②
（バス乾燥・暖房・換気システム側に外部スイッチを接続する場合）



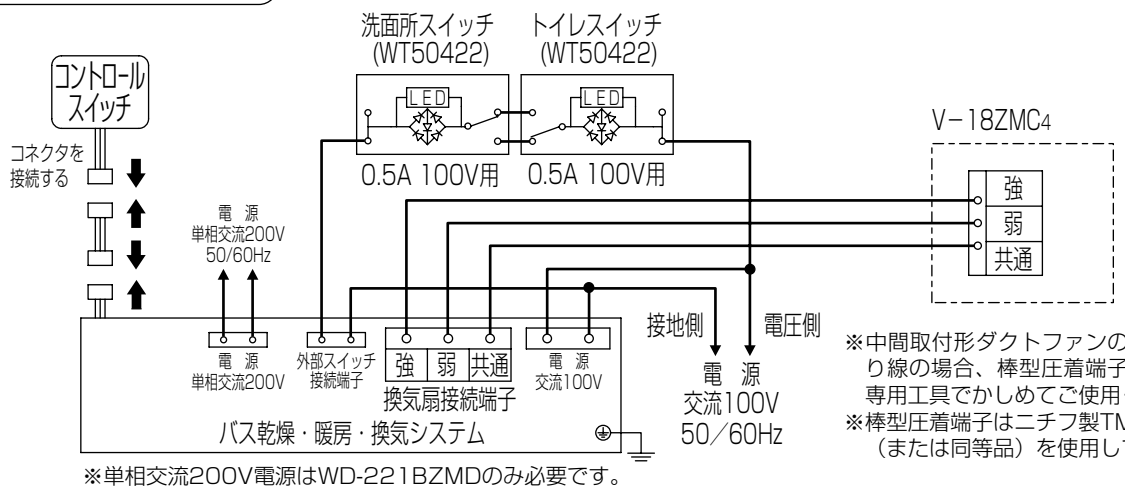
※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
エアフロー環気システム 運転モード	強		強	24hr換気	強	24hr換気	強		強	24hr換気	24hr換気	24hr換気
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		閉※1	開	閉※1	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※24時間換気スイッチを“切”にしますとバス乾燥・暖房・換気システムの全モードにおいてエアフロー環気システムが停止状態となりますのでご注意ください。（バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチでは24時間換気を停止できません）
※バス乾燥・暖房・換気システムのコントロールスイッチではエアフロー環気システムを停止できません。

■ 中間取付形ダクトファン V-18ZMC4との連動結線図



※単相交流200V電源はWD-221BZMDのみ必要です。

※中間取付形ダクトファンの電源ケーブルがより線の場合、棒型圧着端子（お客様手配）を専用工具でかしめてご使用ください。
※棒型圧着端子はニチフ製TMEN TC-1.25-16（または同等品）を使用してください。

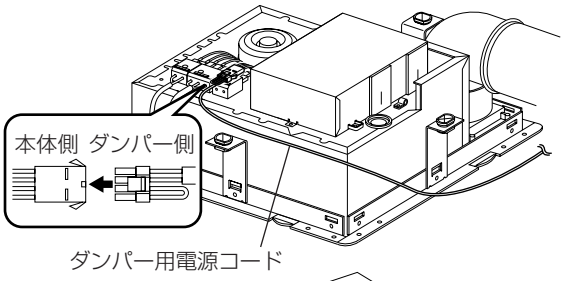
●連動運転シーケンス（工場出荷時）

バス乾燥・暖房・換気システム コントロールスイッチ	換気強		換気弱		暖房		乾燥・涼風		24時間換気		全停止	
トイレスイッチ	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切	入	切
中間取付形ダクトファン 運転モード	強		強	24hr換気	強	24hr換気 ※2	強		強	24hr換気 ※2	24hr換気	停止
バス乾燥・暖房・換気システム 浴室ダンパー	開		開		閉※1		開		閉※1	開	閉※1	開

※1：バス乾燥・暖房・換気システムの浴室ダンパーが閉じ、浴室換気を抑制します。（浴室から湿気が漏れるのを防ぐため、微弱換気をします）
※2：バス乾燥・暖房・換気システムの設定により“停止”への切換えが可能です。（コントロールスイッチにて設定できます）P22

4 ダンパー用電源コードを接続する。

本体取付けの際に点検口側にはわせておいたダンパー用電源コードを本体側（端子台部）のコネクターに接続する。

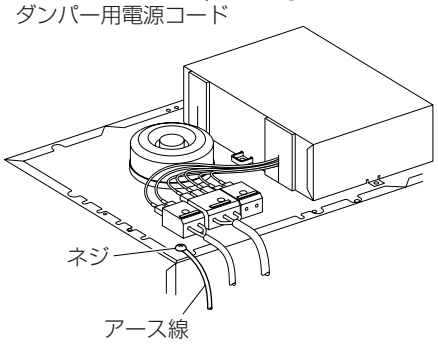


お願い

- ダンパー用電源コードは、必ず接続してください。接続しないと本体・ダンパーが動作しません。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

5 アース工事を行う。

本体のアース端子（ネジ）にアース線を接続して必ずD種接地工事(アース工事)を行う。
アース線をアースに接地する。



トイレ（外部）スイッチを使用する場合

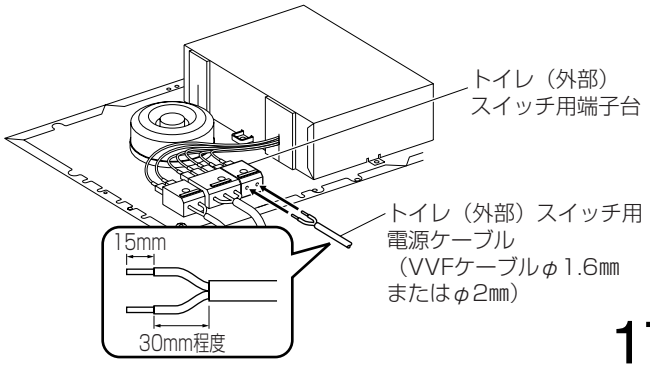
■ トイレ（外部）スイッチに適用可能な市販のスイッチ

パイロットランプ付の場合 … 定格0.5A-100V～0.5A-300V（低負荷用）のスイッチを選定ください。
表示なしスイッチ …… 一般的な片切／３路スイッチ（交流 100V～300V）が使用できます。

6 必要に応じて、トイレ（外部）スイッチの接続を行う。

本体の「トイレ（外部）スイッチ用端子台」に交流 100V の電源を接続用ケーブル（VVF ケーブルφ 1.6 ㎜または φ 2 ㎜）を芯線が見えなくなるまで差し込む。

- ケーブル先端の皮むき寸法は 15 ㎜ です。
- ケーブル外皮は 30㎜程度 むいておいてください。



トイレ（外部）スイッチは、本体停止時や運転中にトイレなどから連動換気扇を運転させたり換気の風量を大きくするためのスイッチです。

本機のコントロールスイッチにてトイレ（外部）スイッチの遅延時間設定が可能です。
「4.試運転」を参照し、設定ください。 P22

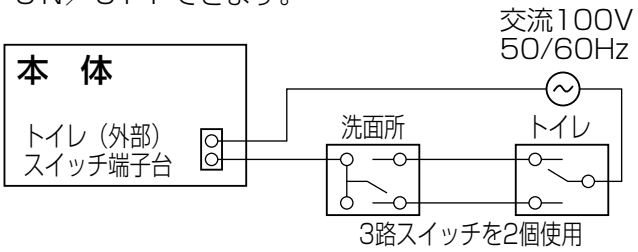
⚠注意

- **トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない**
  トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

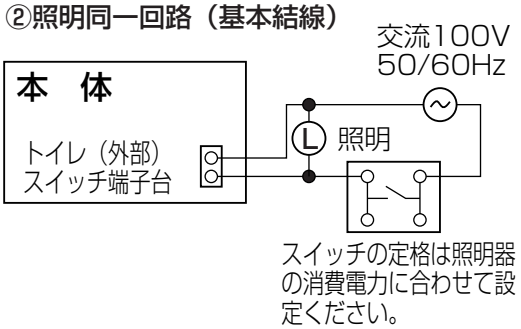
■外部結線例

①2ヶ所ON／OFF（階段スイッチ）

※任意の方向にスイッチを倒すと外部スイッチをON／OFFできます。

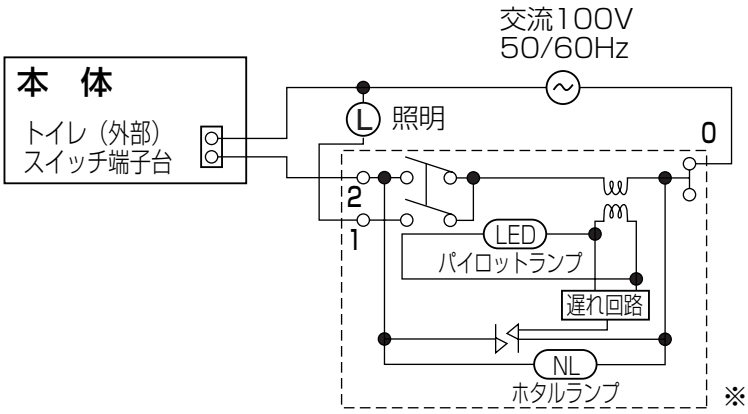


②照明同一回路（基本結線）



③照明同一回路（照明＋換気扇遅れ機能付スイッチを使用）

※トイレなどで、照明を先に消しても一定時間換気風量を上げた状態にできます。
※1つのスイッチで換気と照明を同時にON／OFFできます。



例：パナソニック電工
WTC5383W

※破線内はスイッチ内部回路図です。

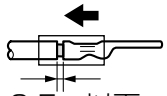
お願い

- 結線を間違えないでください。
  （本体が動作しないか、基板ヒューズが溶断します）
- トイレ（外部）スイッチの接続用ケーブルがより線の場合、右記の棒型圧着端子（お客さま手配）を専用工具でかしめてご使用ください。

■圧着端子使用方法

棒型圧着端子 形名：ニチフ製 TMEN TC-1.25-16（または同等品）

先端を約6㎜皮むきした電線に、
棒型圧着端子を差し込みかしめる。

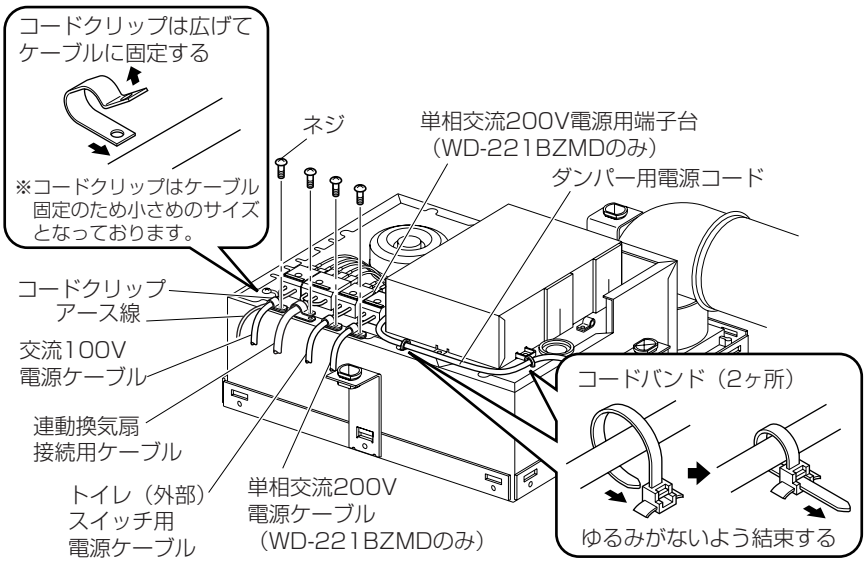


適用圧着工具：
ニチフ製　NH-11またはNH-32と同等品

7　ケーブルを固定する。

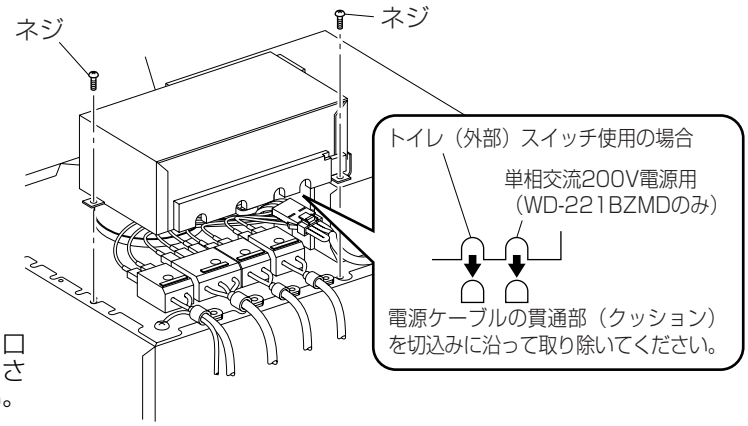
コードクリップおよびコードバンドにて図の通りにケーブルを固定する。

ダンパー接続用コネクターが端子台カバーの中に入るようにダンパー用電源コードを固定する。



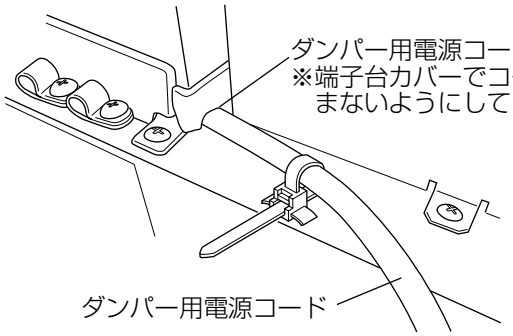
8　端子台カバーを取付ける。

端子台カバーをネジ2本で固定する。



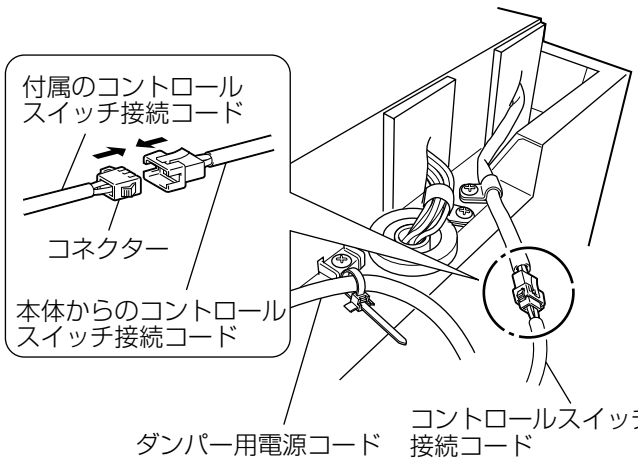
お願い

- ケーブルが端子台カバーに沿うように形を整えてください。
  （端子台カバーが固定しやすくなります）
- 端子台カバーでケーブルをはさまないようにしてください。



9　本体とコントロールスイッチ接続コードを接続する。

付属のコントロールスイッチ接続コードを本体からのコントロールスイッチ接続コードと接続する。



お願い

- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

4 コントロールスイッチの取付け

■取付け前の準備

- 準備するネジ
  スイッチボックスに取付ける場合：M4×20皿ネジ（標準タイプ：3本、照明タイプ：5本）
  壁に直接取付ける場合：φ3㎜×20木ネジ（4本）
  ※ネジの長さは一般的な例です。壁の厚さに応じて選定してください。
- コントロールスイッチ接続コード（本体同梱部品、有効長約5m）を準備してください。
- コントロールスイッチ接続コードの長さが足りない場合は「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。
- 本体側に約2m余裕をもって配線してください。
- コントロールスイッチは、本体の運転確認がしやすい場所に取付けてください。

お願い

- スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす際は、マイナスドライバーをスイッチカバー下部のツメにひっかけてはずしてください。
- コントロールスイッチ接続コードは 15m 以上に延長しないでください。誤動作の原因 になります。
- 結露しやすい壁には取付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

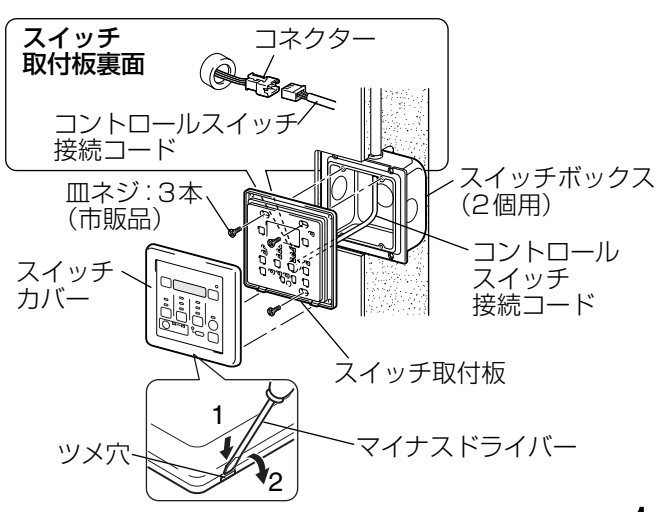
■2個用スイッチボックスに取付ける場合（標準タイプ）＊1個用スイッチボックスには取付けられません。

1　壁に市販の 2 個用スイッチボックスを埋め込み、コントロールスイッチ接続コードを配線する。

2　スイッチカバー下部のツメ穴にマイナスドライバーを差し込み、スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。

3　スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続し、市販の皿ネジ（3本）でスイッチボックスに固定する。

4　スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。

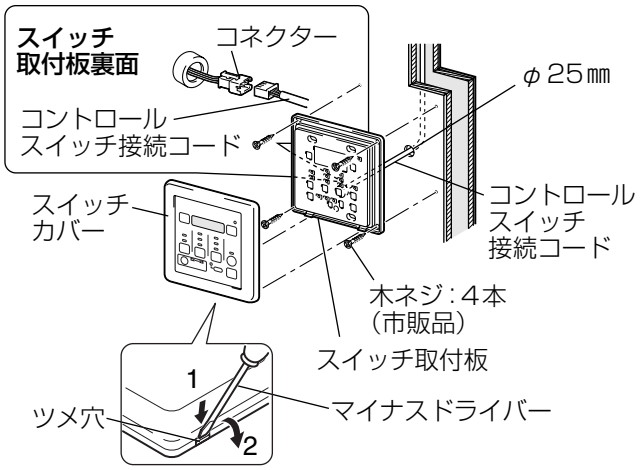


お願い

- ネジを締めすぎないでください。スイッチ固定板の角が浮いたりネジ穴部が割れるおそれがあります。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

■壁に直接取付ける場合（標準タイプ）

1　壁にφ 25 ㎜の穴をあけ、コントロールスイッチ接続コードを配線する。
2　スイッチカバー下側のツメ穴にマイナスドライバーを差し込み、スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。
3　スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続し、市販の木ネジ（4本）で壁に固定する。
4　スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。

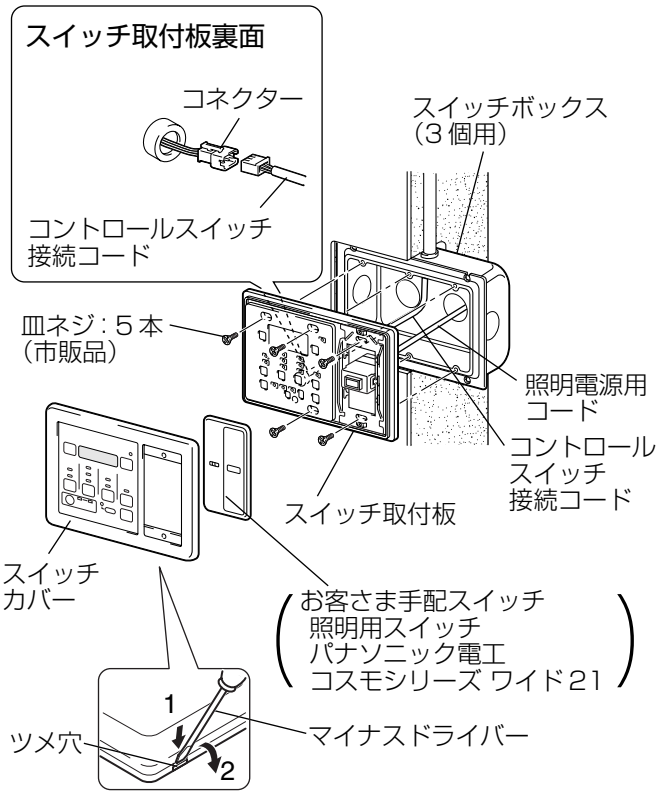


お願い

- コントロールスイッチ接続コードがかみこまないように配線してください。
- コントロールスイッチは必ず平面な壁に取付けてください。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

■３個用スイッチボックスに取付ける場合（照明タイプ）

1　壁に市販の３個用スイッチボックスを埋め込み、コントロールスイッチ接続コードと照明用の電源コードを配線する。
2　スイッチカバー下側のツメ穴にマイナスドライバーを差し込み、スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。
3　スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続する。
4　お客様手配の照明用スイッチを説明書に従い結線し、市販の皿ネジ（５本）でスイッチボックスに取り付ける。
　- 照明用スイッチについては照明タイプコントロールスイッチの外形寸法を参照してください。
5　スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。



お願い

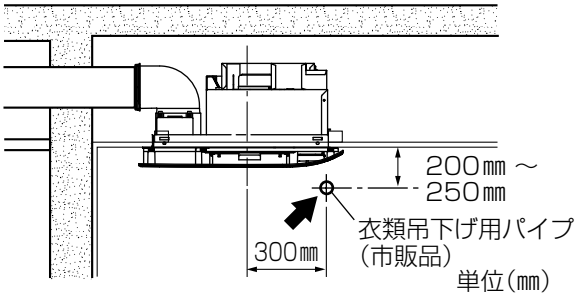
- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードと別配線とし、10 ㎜以上離して配線してください。誤動作の原因 になります。
- ネジを締めすぎないでください。スイッチ固定板の角が浮いたりネジ穴部が割れるおそれがあります。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。

5 衣類吊下げ用パイプの取付け

右図の位置に市販のパイプを取付ける。

お願い

- パイプを購入されるときは必ず１本当り４kg以上の荷重に耐える、耐食性および不燃性のものを購入してください。
- パイプの取付位置は右図を基準として取付けてください。（基準の寸法以外で取付けますと乾燥時間が長くなります）



4. 試運転

試運転手順（風量設定等）

1 電気工事の確認 → 2 試運転前の確認 → 3 電源を入れる（ブレーカーを入れる） → 4 初期設定の変更・確認 → 5 運転の確認 → 6 トイレ（外部）スイッチの動作の確認 → 7 不具合対処 → 電源を切る → **試運転終了**

試運転前に… 試運転の前にもう一度本体および連動換気扇の結線を十分確認のうえ、交流 100V および単相交流 200V（WD-221BZMD の場合）の分電盤ブレーカーを入れて試運転を行ってください。

あらかじめ「トイレ（外部）スイッチ」は「切」の状態にしておいてください。

1 電気工事の確認

●電気工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して取扱説明書の使用方法を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

2 試運転前の確認

●浴室のドアや窓は、必ず閉めてから試運転を行ってください。
閉めないと誤判定の原因になります。

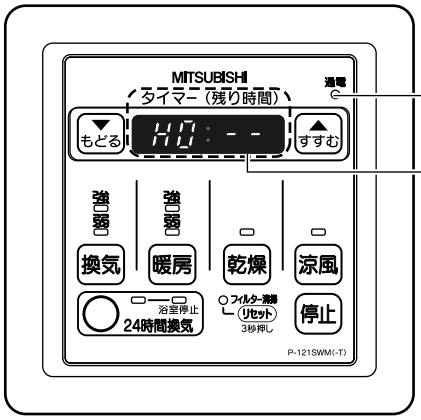
3 電源を入れる（ブレーカーを入れる）

取付後初めて電源を入れると、タイマー表示部が右図のように約 10 秒間点滅します。

タイマー（残り時間）

※点滅中はどのボタンを押しても反応しません。

※ WD-221BZMD の場合、交流 100V ブレーカーを入れてから 1 分以内に単相交流 200V ブレーカーを入れないとエラーが表示されます。その際は一旦 100V ブレーカーを切り、再度交流 100V と単相交流 200V ブレーカーを一緒に入れてください。



初期設定の変更・確認

●24時間換気中は 停止 を3秒以上押し、本体を停止させてから行ってください。

施工時に必ず設定を確認してください

連動出力（AC100V）方式の設定

1

（停止中）
停止 を押しながら 換気 を同時に約3秒間押す

タイマー（残り時間） ピー
J- : - -

2

換気 を押す

タイマー（残り時間） ピッ
J1 : A1
（表示が切換ります）

3

すすむ を押し、設定値を変更します

タイマー（残り時間）
J1 : A1 …設定値

下表に従い、本体と連動する換気扇に合わせて表示を変更してください。（本体からの連動出力（交流100V）方式を設定します）

表示	連動換気扇	
	機種群	形　名
A1	ロスナイセントラル換気システム	VL-200PZMSタイプ・VL-100PZMS
	エアフロー環気システム	V-180SZ(U)4(-N)
	中間取付形ダクトファン	V-12ZMC4・V-13ZMC4 V-15ZMC4・V-15ZMKC4 V-18ZTM4・V-18MSX・V-18ZMC4
A2	カウンターアローファン	V-100CPLU・V-100CPL V-100CPU-BL
A3	ロスナイセントラル換気システム	VL-10PZM3-L,-R・VL-15PZM3-L,-R VL-10CZ3-L,-R・VL-15CZ3-L,-R VL-20PZM3-L,-R

※工場出荷時：A1
※設定を間違えますと正常に動作しません。また、連動換気扇の故障の原因となります。
※上記以外の機種との連動の際はお問い合わせください。

4

停止 を押し、終了します
※次回より変更された記号が設定値として最初に表示されます。

24時間換気風量の設定

2

涼風 を押す

タイマー（残り時間） ピッ
J0 : A1
（表示が切換ります）

3

すすむ を押し、設定値を変更します

タイマー（残り時間）
J0 : A1 …設定値

表示	A1（A4）	A2	A3
風量	弱	強	停止

※工場出荷時：A1（弱）
※A4はA1と同じです。
※VL-200PZMSタイプとの連動の際は、A2（強）に設定しないでください。（A2に設定すると、常時浴室急速換気モードになります）

※上記以外の表示となった場合は 停止 を押し、はじめからやり直してください。

必要に応じて設定ください

トイレ（外部）スイッチの遅延時間

1

（停止中）
停止 を押しながら 乾燥 を同時に約3秒間押す

タイマー（残り時間） ピー
d- : - -

2

換気 を押す

タイマー（残り時間） ピッ
d3 : 1
（表示が切換ります）

3

すすむ を押し、設定値を変更します

タイマー（残り時間）
d3 : 1 …設定値

単位（分）

表示	1	2	3	4
時間	0	3	6	12

※工場出荷時：1（0分）

4

停止 を押し、終了します
※次回より変更された記号が設定値として最初に表示されます。

フィルター清掃のお知らせ時間の変更

1

（停止中）
停止 を押しながら リセット を同時に約3秒間押す

タイマー（残り時間） ピー
F : - -

2

すすむ を押す

タイマー（残り時間） ピッ
F : 6
（表示が切換ります）

3

すすむ を押し、設定値を変更します

タイマー（残り時間）
F : 6 …設定値

単位（ヶ月）

表示	0	1	2	3	6
期間	設定無し	1	2	3	6

※工場出荷時：6（6ヶ月）
※「0」のときフィルター清掃のお知らせは行いません。

※上記以外の表示となった場合は 停止 を押し、はじめからやり直してください。

5 運転の確認

取扱説明書に従い「24 時間換気」「換気」「暖房」「乾燥」「涼風」が正常に運転するか確認する

・確認方法

換気運転 24時間換気運転	本体グリルの吸込口（グリル側面及び後面）より換気していることを確認してください。
暖房運転 乾燥運転	本体グリルの吹出口より温風が出ていることを確認してください。
涼風運転	本体グリルの吹出口より風が出ていることを確認してください。

※停電後にはじめて換気・暖房・乾燥・涼風運転を行うときは、自動的に 24 時間換気運転を開始します。

表示部に以下の記号が表示されたら

以下の指示に従い対応してください。

表示部	原因	対処
下2桁が60番台 タイマー（残り時間） E-60	本体とコントロールスイッチの通信が正常に行われていません	コントロールスイッチ接続コードが正しく接続されているか確認ください
タイマー（残り時間） E-40	本体に接続されている電源電圧が正しくないか、ブレーカーが入っていません※1	本体に合った正しい電源を接続し、ブレーカーを入れてください
タイマー（残り時間） E-03	ダンパー用電源コードが接続されていません	ダンパー用電源コードのコネクターが本体側のコネクターに正しく接続されているか確認ください
タイマー（残り時間） E-02	連動換気扇用端子台に電源が接続されています	結線が正しいか確認ください。

※取扱説明書にもその他のエラーコードとその対応が記載されています。あわせてご確認ください。

※ 1：WD-221BZMD の場合、交流 100V ブレーカーを入れてから 1 分以内に単相交流 200V ブレーカーを入れないとエラーが表示されます。その際は一旦 100V ブレーカーを切り、再度交流 100V と単相交流 200V ブレーカーを一緒に入れてください。

6 本体とトイレ（外部）スイッチの動作を確認する

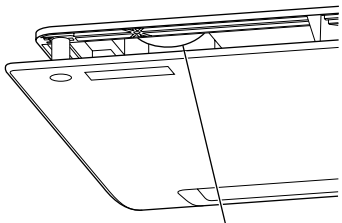
本体ダンパーの動作確認

①24時間換気運転中にもう一度24時間換気ボタンを押す。

表示ランプの右側が点灯し、浴室のダンパーを閉じて浴室のみ換気を抑制することができます。

メモ

- 浴室換気の停止中は本体のダンパーが閉じます。
- ダンパー開閉の状態は、製品後方（洗い場側と反対側）のグリルと本体のすき間から確認できます。



ダンパー（開いた状態）

※閉じた状態ではダンパーが見えなくなります。

トイレ（外部）スイッチと各モードの関係

■トイレ（外部）スイッチを入れた時のダンパー開閉

運転内容	トイレ（外部）スイッチ切	トイレ（外部）スイッチ入
24時間換気	ダンパー開※1 ○	ダンパー閉※2 ●
換気	ダンパー開 ○	ダンパー開 ○
暖房	ダンパー閉 ●	ダンパー閉 ●
乾燥	ダンパー開 ○	ダンパー開 ○
涼風	ダンパー開 ○	ダンパー開 ○

※1：24時間換気運転で「浴室停止」をしている場合はダンパーは閉じた状態です。

※2：トイレ（外部）スイッチが別設置の換気扇（ロスナイセントラル、エアフロー環気システムなど）に直接接続されている場合は、ダンパーが閉じません。

7 不具合対処

次のような症状があれば必ず分電盤のブレーカーを切ってから点検してください。

症　状	原因・処置	
運転しない	本体に通電されていますか？	ブレーカーを点検してください 単独で 20A 以上の容量が必要です
		停電していませんか？
停止しない	ヒーター停止後約 15 秒間は冷却運転します	故障ではありません
振動がする	グリルが確実に取付けられていますか？	確実に取付けてください
	取付ネジがゆるんでいませんか？	確実に締め付けてください
トイレ（外部）スイッチを操作しても換気風量が切換わらない	換気強、乾燥、涼風の運転中	換気強、乾燥、涼風の運転中には、換気風量は切換わりません。
	トイレ（外部）スイッチの遅延時間が設定されている	トイレ（外部）スイッチの遅延時間が設定されている場合は、トイレ（外部）スイッチを切ってから遅延時間（3、6、12 分）後に、元の状態に戻ります。
焦げた臭いがする	お買上げ初期または長期間ヒーター運転を行わなかった場合はこげたような臭いがすることがあります	故障ではありません （数日で臭いがなくなります）
温風が出ない	室温または天井裏の温度が約 40℃（暖房弱は約 35℃）を超える場合はヒーターに通電されません	故障ではありません
	温度過昇防止装置によりヒーター電源が切れて本体を冷却しています	数分後（3 ～ 5 分程度）に復帰する場合は故障ではありません
ヒーターが途中で切れる（冷たい風が出ている）	温度過昇防止装置によりヒーター電源が切れて本体を冷却しています	数分後（3 ～ 5 分程度）に復帰する場合は故障ではありません
運転モードを切換えたときに「カチ、ジー」と音がする	リレー接点の切換わり音またはダンパーを駆動しているギヤードモーターの動作音です	故障ではありません

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。